



GeoBox[®]

エッジブレンディングプロセッサ

G112

取扱説明書





V1.0

安全のために必ずお読みください

本書をお読みいただき正しい方法でご使用ください。誤った使用方法による危険を表すものとして下記の表示を使用しています。








 警告 誤った取り扱いをした場合に死亡や重傷などの重大な結果を伴う可能性があることを表します。	 注意 誤った取り扱いをした場合に軽傷を負うか、物的な損害が生じる可能性があることを表します。
---	---

記号の説明

	注意を促すことを表します。
	してはいけないこと（禁止）を表します。



万一異常が発生した場合は直ちに使用を止め、電源プラグを抜いて機器を安全な場所へ移動してください。異常があるまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

	斜面や不安定な場所に置かないでください。また壁面などに設置する場合は確実に固定してください。落下などにより怪我の原因となります。
	異常な発熱がある場合や煙を発生した場合、また不自然な臭いを感じた場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止してください。
	壊れた機器や異常のある機器を本機に接続しないでください。本機の故障の原因になるだけでなく、火災や感電の原因となる場合があります。
	水に濡れた場合、内部に異物が入った場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
	電源ケーブルに重いものを乗せたり、折り曲げたまま力を加えたり、強く引っ張ったりしないでください。ケーブルの断線が生じ、火災や感電の原因となります。
	裏蓋を外して本機を分解する、独自の修理を行う、または改造するなどしないでください。火災、感電の原因となる場合があります。
	屋外や浴室など水がかかるおそれがある場所では使用しないでください。



注意

注意事項をよくお読みください。誤った設置方法や取り扱いによって機器に故障が生じ、火災、感電の原因となる場合があります。

	本機は屋内での使用を前提としております。屋外では使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
	ご使用の際は直射日光が当たる場所を避け、暖房器具などの熱を発するもの、火気のそばには置かないでください。
	使用中に本機に布を被せて通気を妨げないでください。またテープを巻きつけるなどしないでください。通気を妨げると本体の温度が上がり故障の原因となります。
	本機は車載用に設計されたものではありません。継続的な振動を受け続けると故障の原因となる場合があります。
	本機を密閉された狭い場所には設置しないでください。また通気のある場所に設置してください。密閉された通気のない場所で使用すると本体の温度が上がり故障の原因となります。
	高温、湿度の高い場所、温度変化の大きい場所、または湯気、油煙にさらされる場所には設置しないでください。故障の原因となります。また結露したまま使用しないでください。
	コンセントから AC アダプターを抜く場合は本体部分をしっかりと持って抜いてください。ケーブルを引っ張って抜かないでください。
	電源プラグはコンセントにしっかりと奥まで接続してください。
	AC アダプターが抜けかけた状態で使用しないでください。コンセントから抜けかかった状態で使用すると火災、感電の原因となる場合があります。

目次

1 同梱品	6
2 製品画像.....	6
2-1 フロントパネル.....	6
2-2 リアパネル.....	7
3 リモコン.....	8
4 製品概要.....	9
5 設定方法と接続手順	9
5-1 設定方法[リモコン].....	9
5-2 接続手順	9
5-3 基本設定の流れ.....	9
5-4 その他の設定	10
6 [Picture] カラープロパティの調整	10
7 [Image Properties] イメージプロパティ設定.....	11
7-1 [Color] 色温度/RGB カラー設定.....	11
7-2 [Scaling] スケーリング.....	12
7-3 [Output Mode] 出力解像度の設定.....	12
7-4 [Rotation] 映像回転・反転.....	13

8	[Video Wall] ビデオウォール設定	15
8-1	[Zoom] ズーム	15
8-2	[Pan] 表示エリアの指定	16
8-3	[Overlap] オーバーラップ（拡大・縮小・移動）	17
8-4	[Position] ポジション	18
9	[Anyplace] 幾何学補正 エッジブレンディング	19
9-1	[2x2]ポイント補正	19
9-2	[3x3][5x3][9x5][17x9] ポイント補正・リニアリティ補正	19
9-3	[Wall] コーナー補正	20
9-4	[Blend] エッジブレンディング	20
10	[Options] オプション設定	22
10-1	[Information] ステータス確認	22
10-2	[Language] 言語選択	22
10-3	[Reset] リセット	22
10-4	[Accessibility] メニューアウト、無信号時の設定	23
10-5	[Setting] 設定保存・呼出、RS-232C、EDID 設定	24
11	仕様	27
11-1	製品仕様	27

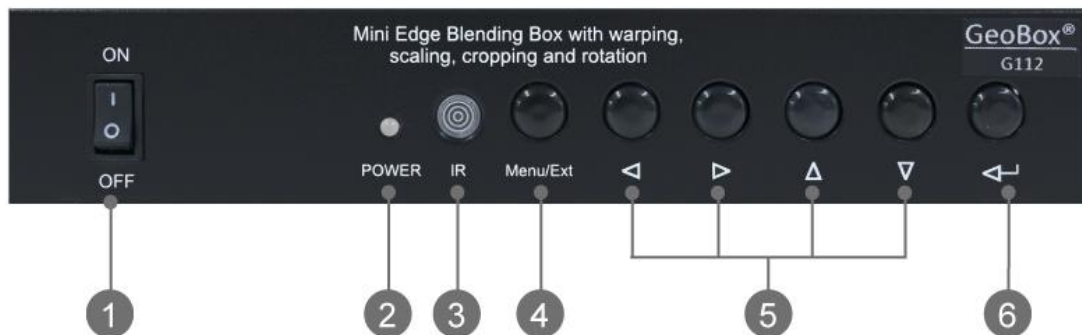
1 1-2 製品外観（機器寸法図）28

1 同梱品

・製品本体	1台
・電源アダプター（DC12V）	1個
・リモコン（単4電池 2個付属）	1個
・リモコン延長用ケーブル（1.8m）	1本
・クイックスタートガイド	1部
・アフターサービス規定書	1部

2 製品画像

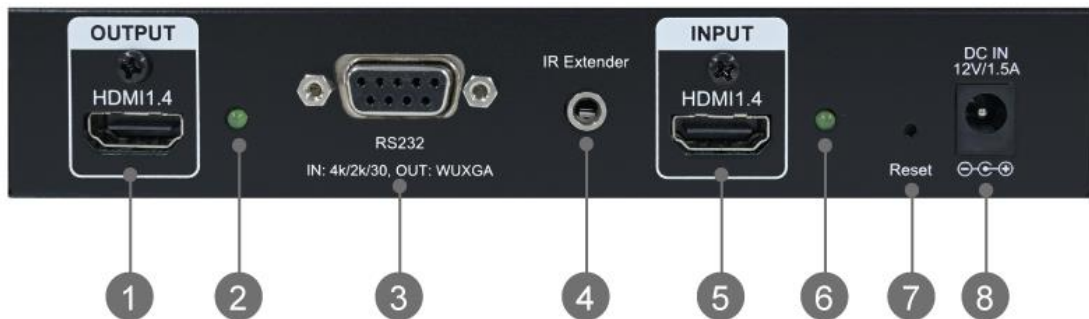
2-1 フロントパネル



- ① **電源オン/オフ スイッチ**: 電源をオフにすると、その時点の設定を記憶します。電源をオンにすると、電源をオフにした際に記憶した設定で表示します。
- ② **Power LED**: 本体に電源が入ると緑色に点灯します。リモコン操作のロック中は緑色と橙色に交互点灯します。本機 ID による排他制御中は緑色に点滅します。
- ③ **IR**: リモコンの受光部です。
- ④ **Menu/Ext ボタン**: OSD (On Screen Display) 画面を表示します。OSD 表示中に押下すると OSD 画面が消えます。また、OSD 表示中に⑤のボタン (<▷△▽) を押下すると OSD の項目を選択でき、⑥のボタン (↵) を押下すると選択した設定を決定します。

- ⑤ **選択ボタン** : OSD 表示中に各種設定項目を選択する際に使用します。
- ⑥ **決定ボタン** : OSD 表示中に各種設定の決定する際に使用します。

2-2 リアパネル



- ① **HDMI-1.4 出力端子**:表示機器と接続します。
- ② **Output LED** : 出力端子に接続する表示機器との接続確立時に緑色に点灯します。
- ③ **RS-232C 端子**:RS-232C コマンドを入出力します。
- ④ **IR Ext**: リモコン受信部を外部に延長します。
- ⑤ **HDMI-1.4 入力端子**:HDMI ソース機器を接続します。
- ⑥ **Input LED** : 入力信号を検知した際に緑色に点灯します。
- ⑦ **Reset ボタン**:工場出荷状態に初期化します。Reset ホールを 5 秒ほど長押しし、画面に「Reset to Default」と表示されたら離します。本機が自動的に再起動されて、初期化が完了します。
- ⑧ **電源ジャック**:付属の電源アダプターを接続します。

3 リモコン

ボタン	機能
POWER	本体の電源 ON/OFF
PROFILE	プロファイル選択 (詳細 5-4-3)
INFO	OSD>OPTIONS>INFO を表示する
CH A/B	本機では使用しません
CH1~8	本機では使用しません
MUTE	MUTE ON⇔OFF を実行します
BACK	前の画面に戻る
OK	決定する
▲▼◀▶	項目選択
EXIT	OSD を閉じます
MENU	・ OSD を表示する ・ 5 秒間押し続けることでリモコン操作をロックします。(詳細 5-4-2)
INPUT	本機では使用しません
OUT	出力解像度を選択する (OTH は 1920x1200⇒1280x720⇒1360x766)
0-9	[SAVE]または[PROFILE]押下後、[0~9]のいずれかの番号を押下すると、PROFILE の保存・呼び出しを実行します。(詳細 5-4-3)
SHIFT,P,TL,TR,R	本機では使用しません
4 CORN	OSD> Anyplace > 2x2 を表示
WARP	OSD> Anyplace>3x3,5x3,9x5,17X9,Wall を表示
E.BLEND	OSD> Anyplace>Blend>Edge を表示
V.WALL	OSD> Video Wall を表示
PATTERN	押すごとに 6 種テストパターンを切り替え表示
ALL	本機では使用しません
SAVE	プリセット表示を保存します。(詳細 5-4-3)
RST	OSD>Options>Reset を表示
OVLP	OSD>Video Wall>Overlap を表示



4 製品概要

G112 は、HDMI 入出力端子を搭載したエッジブレンディングプロセッサです。映像の回転・反転、幾何学補正、スケーリング出力、EDID 保持、高度な幾何学補正、ブレンディングを行うことができます。別売の HDMI 分配器（型番：S914）と組み合わせ、ブレンディング機能を持たないプロジェクターでもシームレスなマルチプロジェクションシステムを構築できます。

5 設定方法と接続手順

5-1 設定方法[リモコン]

本機の設定は、リモコン操作にて OSD(オンスクリーンディスプレイ)画面から行います。リモコンの Menu ボタンを押すと OSD 画面を表示します。本機から離れた場所でリモコン操作する場合、付属の 1.8m リモコン延長ケーブルをご使用ください。さらに離れた場所からリモコン操作をしたい場合、市販の 3.5mm ステレオミニケーブル（オス・メス）を流用することで、本機から最長 20m まで離れた場所からリモコン操作が可能です。

5-2 接続手順

1. 接続する全ての機器の電源をオフにする。
2. ソース機器⇄本機を HDMI ケーブル、表示機器⇄本機を HDMI ケーブルで接続する。
3. 本機に付属の電源アダプターを接続し、電源ボタンを押して電源をオンにする。
※ 電源をオンにしてから本機の起動までに 10 秒ほど時間を要します。本機より先にソース機器が起動した場合、ソース機器が EDID を取得できず正しく動作しないことがありますのでご注意ください。
※ 本機は電源を切る直前の設定情報（ラストメモリー）で起動します。
4. 表示機器、ソース機器の順に電源をオンにする。

5-3 基本設定の流れ

1. EDID の設定をする。（詳細 10-5-6）
2. 出力解像度の設定をする。（詳細 7-3）
3. 必要に応じて映像回転や反転の設定をする。（詳細 7-4）
4. 幾何学補正またはコーナー補正の設定をする。（詳細 9-1、9-2、9-3）
5. 画面構成の設定をする。（詳細 8-1）

OSD [Video Wall]> [Zoom]

表示機器の画面構成（ヨコの面数とタテの面数）を設定します。例えば、ヨコ 4 面、タテ 2 面の計 8 面の場合、Horizontal Zoom（ヨコの面数）を 4、Vertical Zoom（タテの面数）を 2 に設定します。

6. 表示エリアの設定をする。(詳細 8-2)
OSD [Video Wall]> [Pan]
5 の[Zoom]で分割した入力画像から表示したいエリアを指定する。
7. オーバーラップの設定をする。(詳細 8-3)
8. エッジブレンディングの設定をする。(詳細 9-4)
9. プロファイル (設定情報) の保存をする。(詳細 10-5-5)

5-4 その他の設定

5-4-1 初期化 (システムリセット)

リアパネルの RESET ピンホールスイッチを 5 秒間長押しすると、本機を工場出荷時の初期設定に戻すことができます。(Profile に保存した設定情報も初期化されます)

5-4-2 ボタン操作をロック

リモコンの MENU ボタンを 5 秒間押し続けるとリモコン操作をロックします。ロック中は POWER LED が緑色と橙色に交互点灯します。ロック中にリモコンの MENU ボタンを 5 秒間押し続けるとロックを解除します。

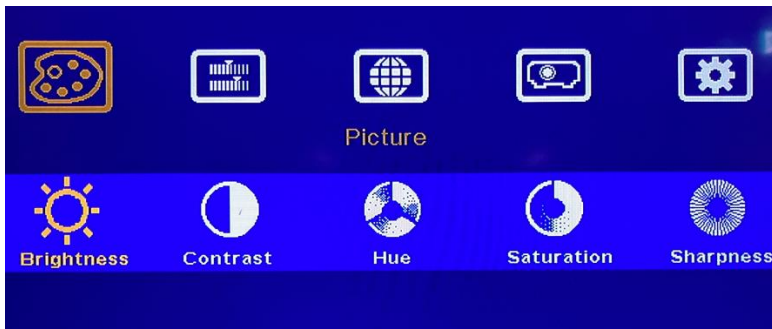
5-4-3 プロファイルの保存と呼び出し

リモコンの Save ボタンを押下後、[0]~[9]のいずれかのボタンを押下すると、PROFILE の Index1~10 に表示パターンが保存されます。リモコンの数字ボタンと PROFILE の Index 番号がリンクします。但し、リモコンの数字[0]は、PROFILE の 10 とリンクします。

リモコンの PROFILE ボタンを押下後、[0]~[9]のいずれかのボタンを押下すると、PROFILE の Index1~10 に保存した表示パターンを呼び出すことができます。

6 [Picture] カラープロパティの調整

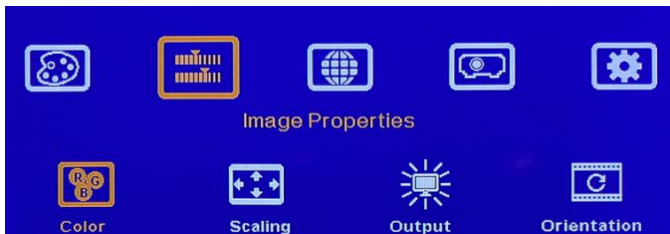
出力映像の画質設定を行います。出力先ごとに設定が可能です。



[Brightness]	明るさ
[Contrast]	コントラスト
[Hue]	色調 (※YUV方式の映像入力時のみ操作可能)
[Saturation]	彩度 (※YUV方式の映像入力時のみ操作可能)
[Sharpness]	シャープネス

7 [Image Properties] イメージプロパティ設定

入力ソース・出力解像度の選択や表示方法の設定を行います。



7-1 [Color] 色温度/RGB カラー設定

出力先ごとに色温度や RGB のパラメーターの設定を行います。



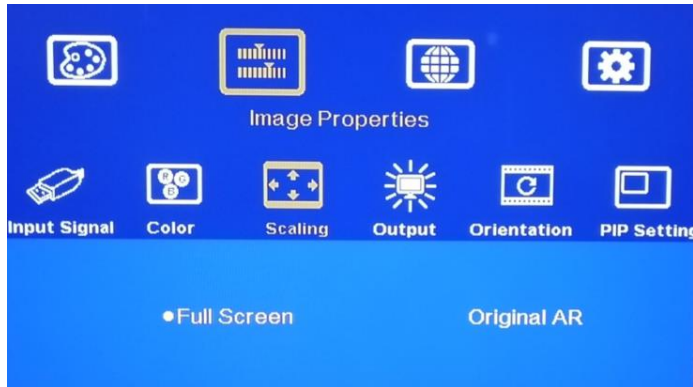
Preset Mode : [Neutral] 標準, [Reddish] 赤, [Bluish] 青のいずれかを選択



Custom : [Red]・[Green]・[Blue] のパラメーター (0~255) をそれぞれ個別設定可能

7-2 [Scaling] スケーリング

映像の表示アスペクト比を選択します。



Full Screen : 全画面表示

Original AR : オリジナル映像ソースのアスペクト比を保ったまま表示

【例】 入力ソースが 4:3 で GeoBox から 16:9 にて出力した場合

▼ソース映像(4:3)



▼Full Screen



▼Original AR



7-3 [Output Mode] 出力解像度の設定

出力先ごとに出力解像度の選択、Deep Color 設定、HDCP の出力モード設定を行います。

● 1920x1080	1920x1200	1280x720
1024x768	1280x800	1360x768
1280x1024	1920x1080@50	1920x1200@30
1920x1080@24	1920x1080@30	2048x1080
1024x768@120	1280x720@120	1280x800@120
HDCP Output	Deep Color	

選択可能な出力解像度	リフレッシュレート
1920x1080	60Hz, 50Hz, 30Hz, 24Hz
1920x1200	60Hz, 30Hz

1280x720, 1024x768, 1280x800, 1360x768, 1280x1024, 1400x1050, 1600x1200	60Hz
--	------

※ 入力ソースが YUV 方式、色差信号が 4:2:0 や 4:2:2 の場合でも、本機からは RGB 4:4:4 固定で出力されます。

◆Deep Color 出力設定



出力解像度の選択肢にある[Deep Color]を選択すると、Deep Color（色深度）の ON/OFF 設定が可能です。設定が OFF の場合は、色深度は各色 8bit で出力します。設定が ON の場合は、入力ソースの色深度が各色 10bit 入力時は、各色 10bit のまま出力します。

◆HDCP 出力設定



出力解像度の選択肢にある[HDCP Output]を選択すると、HDCP 出力モードの設定が可能です。デフォルトの状態では HDCP Input Only が選択されています。

●HDCP Input Only：入力信号の HDCP 付加状況に合わせて出力を行います。

- ・入力信号 HDCP 無しの場合 → 出力信号 HDCP 無し
- ・入力信号 HDCP 有りの場合 → 出力信号 HDCP 有り

●HDCP Enable：常時 HDCP を付加して出力します。

- ・入力信号 HDCP 無しの場合 → 出力信号 HDCP 有り
- ・入力信号 HDCP 有りの場合 → 出力信号 HDCP 有り

※HDCP 無しのソースを入力した場合は、HDCP1.4 を付加して出力します。

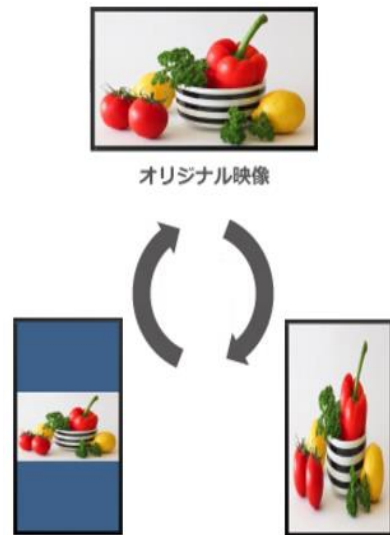
●HDCP Disable：常時 HDCP 無しで出力します。

- ・入力信号 HDCP 無しの場合 → 出力信号 HDCP 無し
- ・入力信号 HDCP 有りの場合 → 出力信号 HDCP 無し <映像・音声出力不可>

※HDCP 有りのコンテンツを入力する際に HDCP Disable モードを選択すると、映像・音声は出力されません。またこの場合は、入力端子によって本体筐体パネルの OUTPUT LED が点滅します。

7-4 [Rotation] 映像回転・反転

出力先ごとに映像ソースの回転、反転（水平のみ、垂直のみ、水平+垂直）の設定が行えます。



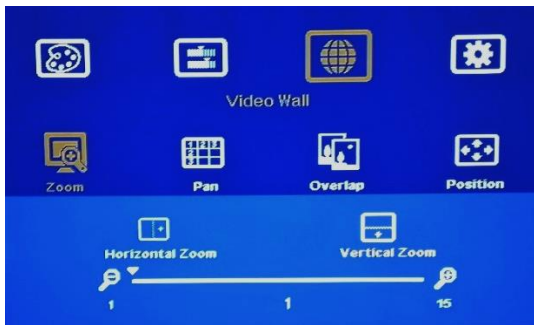
8 [Video Wall] ビデオウォール設定

1つの映像コンテンツを複数の表示機器にまたいで表示ができる機能です。

CH毎に最大ヨコ15面、タテ15面に分割設定が可能で、分割した任意のエリアを表示できます。

8-1 [Zoom] ズーム

[Zoom]では、入力画像をヨコ・タテ任意の数に分割する設定を行います。



【例】1つの映像をヨコ3×タテ3の9面ビデオウォールで映す場合のZoom設定

⇒ビデオウォールを構成する全ての出力CHに対して、Horizontal Zoom（水平）を3、Vertical Zoom（垂直）を3に設定します。

オリジナル映像コンテンツ



Zoom前：全ての面に拡大前の映像表示



Zoom後：H3 x V3サイズに拡大された映像表示

※次頁のPan設定前のため左上の部分が表示される



8-2 [Pan] 表示エリアの指定

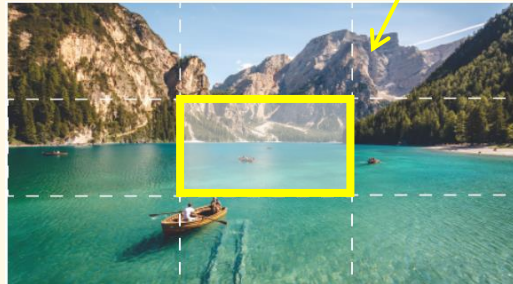
[Pan]では、8-1 [Zoom]で拡大分割した入力映像から表示したいエリアを指定します。



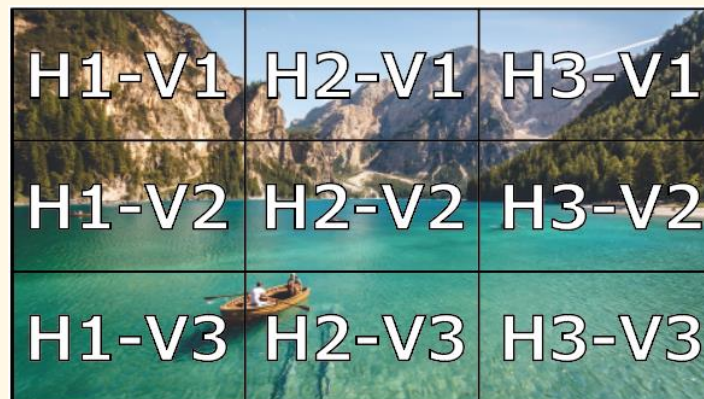
【例】1つの映像をヨコ3× タテ3の9面ビデオウォールで映す場合のPan設定

⇒ 出力CHごとに映したい映像エリアに合わせてPanの値を設定します。例えば9面ビデオウォールの中心に配置されるディスプレイは水平方向2列目の上から2行目の位置にあるため、Horizontal Pan（水平）=2、Vertical Pan（垂直）=2に設定し、以下図の黄色ハイライト部の拡大分割映像を表示します。

オリジナル映像コンテンツ

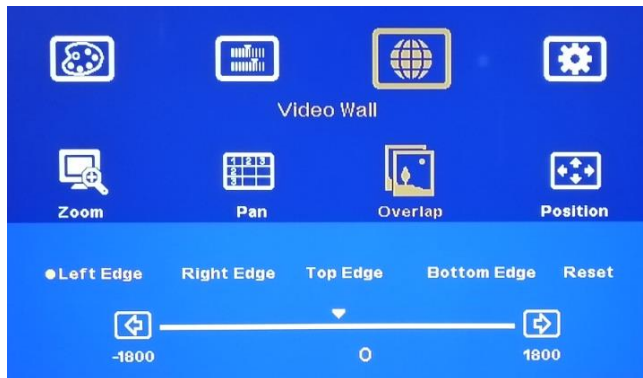


Pan 設定後：9面それぞれにH3 x V3サイズに拡大された映像のうち、任意の部分を指定して映像表示



8-3 [Overlap] オーバーラップ (拡大・縮小・移動)

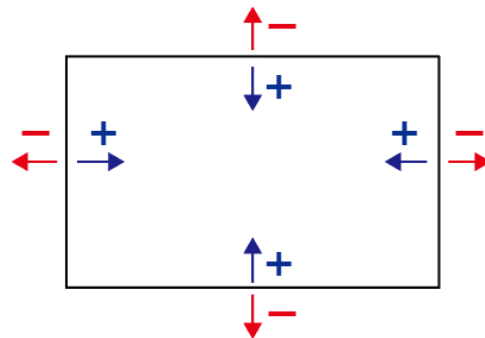
Left・Right・Top・Bottom の四辺に対して±1800 ピクセルの補正が可能です。複数のプロジェクターでマルチ投写する場合、エッジブレンディングの重なり部分のコンテンツ生成が可能です。オーバーラップ値はプラスの値を入れると映像が縮小し、マイナスの値を入れると映像が拡大します。



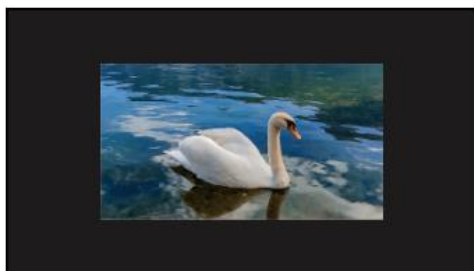
■ オーバーラップ設定イメージ

オーバーラップ値はプラスの値を入れると映像が縮小し、マイナスの値を入れると映像が拡大します。映像が移動したことによって非表示になった部分のカラーは黒色または青色に設定できます。(詳細 10-4-4)

無設定の状態



縮小表示



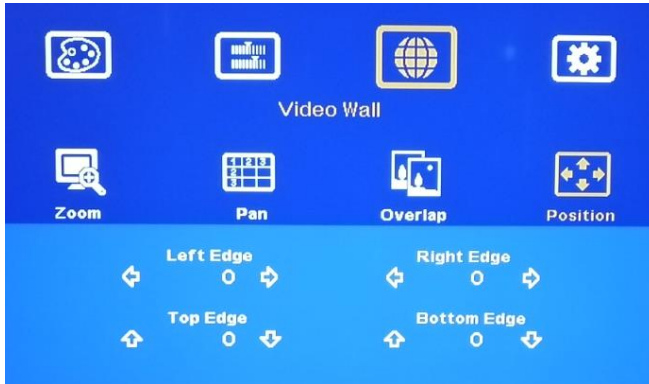
拡大表示



8-4 [Position] ポジション

リモコンのカーソルキー（▲▼◀▶）を押しながら直感的に画像の移動が行えます。

出力先ごとに 8-3[Overlap]の設定値とリンクします。



■ポジション移動イメージ

映像のアスペクト比を保ったまま映像を上下左右に移動します。映像が移動したことによって非表示になった部分のカラーは黒色または青色に設定できます。(詳細 10-4-4)

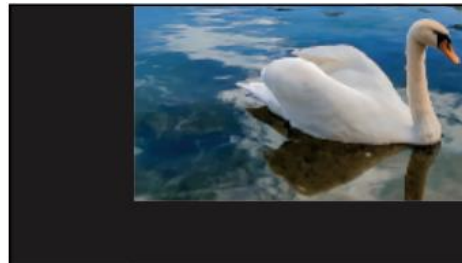
無設定の状態



左カーソルキーを押して左方向に移動させた場合



右・上カーソルキーを押して右上方向に移動させた場合



9 [Anyplace] 幾何学補正 | エッジブレンディング

投写エリアに幾何学補正の起点となるポイントを表示させ補正することができます。いずれかのポイントを選択後リモコンの▲▼◀▶ボタンを押すと、選択したポイントを起点として、▲▼◀▶を押した方向に幾何学補正がリアルタイムに実行されます。また、オーバーラップエリアのエッジブレンディング（光量調整）の調整が可能です。



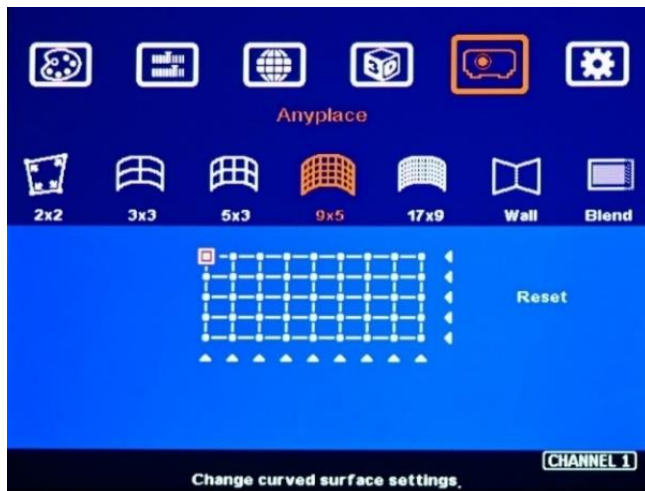
9-1 [2x2]ポイント補正

四隅の各ポイントから左右上下それぞれ±600ピクセルの範囲で1ピクセルごとに幾何学補正が行えます。
[2x2]のポイント補正は、アスペクトが保たれます。



9-2 [3x3][5x3][9x5][17x9] ポイント補正・リニアリティ補正

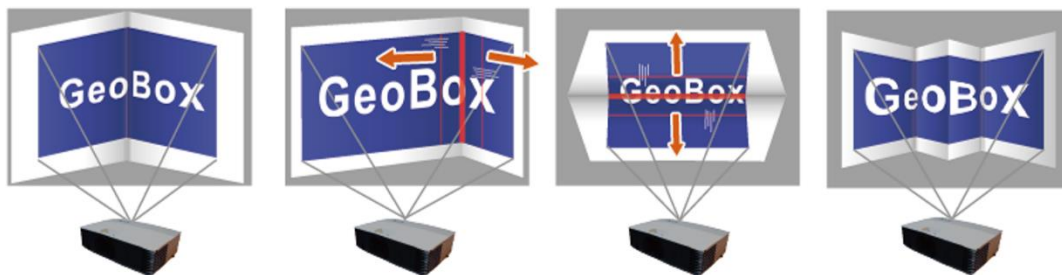
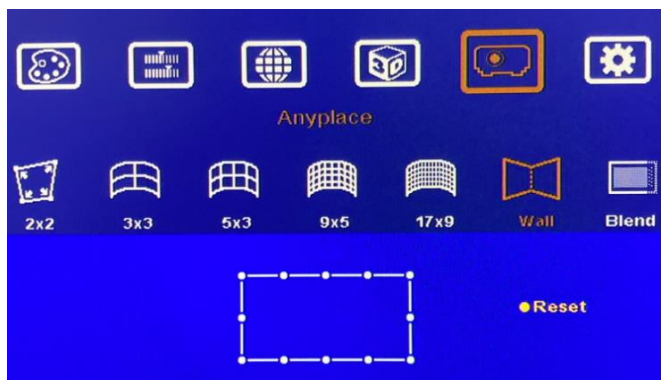
[3x3][5x3][9x5][17x9]は、[2x2]の補正値を起点として、さらに各ポイントから左右上下それぞれ±600ピクセルの範囲で1ピクセルごとに幾何学補正行えます。
[3x3][5x3][9x5][17x9]は、ポイントを起点とするポイント補正と直線的に調整するリニアリティ補正が行えます。リニアリティ補正は、▲ ◀を選択し水平・垂直方向に制御することができます。幾何学補正は、補正ポイント数が最少の[2x2]→[3x3]→[5x3]→[9x5]→[17x9]の順番に補正してください。補正ポイントの多い数から少ない数に戻すと、補正ポイントの多い数で実行した補正値はリセットされますのでご注意ください。但し、[2x2]に戻った場合のみ[2x2]で設定した補正値は保持します。



9-3 [Wall] コーナー補正

プロジェクター1台で隅角部や屏風などに合わせて投写したい場合に有効な補正機能です。

※コーナー補正が有効の場合は、[2x2][3x3][5x3][9x5][17x9]のポイント補正値は無効になります。



9-4 [Blend] エッジブレンディング

複数台のプロジェクターを並べてマルチ画面で投写する際、つなぎ目の映像の重なりが目立たないように調整できます。



9-4-1 [Edge]

Left Edge (左エッジ)、Right Edge (右エッジ)、Top Edge (上エッジ)、Bottom Edge (下エッジ) の各エッジに対する光量を調整します。

左右の各エッジ 50～1920、上下の各エッジ 50～1200 の範囲を 1 ピクセル単位で設定できます。但し、上下のエッジ合算値が最大 2160 ピクセルの制限があります。例えば、上エッジを 1200 と設定した場合、下エッジは 0～960 の範囲での設定となります。

9-4-2 [Shift]

幾何学補正後の投写エリアを起点として、-100～500 の範囲を 1 ピクセル単位でマスキング設定することができます。

9-4-3 [Gamma]

ブレンディング領域のガンマを R・G・B 個別に補正することができます。

9-4-4 [Color]

プロジェクターごとに異なるカラーバランスを調整できる機能です。ゲイン、オフセットの RGB 個々で調整することで、ホワイトバランスやカラーコレクションの調整ができます。

9-4-5 [Grid]

グリッドパターンのクロスハッチのグリッドサイズを 8～120 ピクセルの範囲で変更し使用できます。

1 0 [Options] オプション設定

1 0-1 [Information] ステータス確認

入力解像度、出力解像度、モデル名、ファームウェア、MCU のバージョンを確認できます。

HDMI-1 Input Mode	1920x1080 67kHz/60Hz (YUV444/16)	Model Name	G112
		Firmware	112R2A04
Output Mode	1920x1080 60Hz (RGB/8/Sync)		

[Input Mode] 選択中のソースの入力解像度、周波数、カラー形式・ビット数を表示します。

マルチビュー設定時は、2つのソース情報を表示します。

[Output Mode] 出力解像度、周波数、カラー形式・ビット数、フレームシンクの状態（詳細 10-5-4）を示します。

[Model Name] ユニットのモデル名を表示します。

[Firmware] ファームウェアのバージョンを表示します。

1 0-2 [Language] 言語選択

OSD の言語を英語、中国語から選択できます。

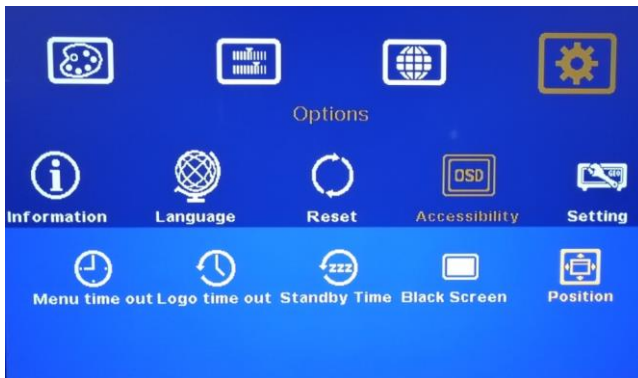
1 0-3 [Reset] リセット

設定をリセットします。

[Reset All] 本機をリセットします。※但し、[Profile] で設定した情報は残ります。

[Video Wall] ビデオウォール設定値のみリセットします。

1 0 - 4 [Accessibility] メニューアウト、無信号時の設定



1 0 - 4 - 1 [Menu Time out]

OSD メニュー表示タイムアウト設定です。設定した時間 OSD 操作が行われないと OSD メニューは消えます。(設定範囲 5~60 秒) [Off]設定時は、OSD メニューが表示され続けます。

1 0 - 4 - 2 [Logo Time Out]

本機の起動時に表示される GeoBox ログ表示のタイムアウト設定をします。(設定範囲 5~60 秒)
設定した時間が経過するまでロゴが表示され、設定を OFF にすることで非表示にすることも可能です。

1 0 - 4 - 3 [Standby Time Out]

入力信号を検知しない状態が設定した時間続いた場合、自動的に出力信号を OFF にします。(設定範囲 5~120 秒)

1 0 - 4 - 4 [Black Screen]

出力信号 OFF 時のスクリーンの表示カラーを設定することができます。

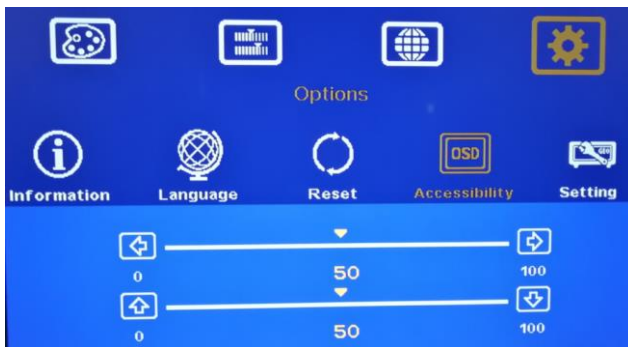
[OFF] ブルースクリーン表示

[ON] ブラックスクリーン表示

1 0 - 4 - 5 [Position]

OSD メニューの表示位置を任意の場所へ移動させることができます。

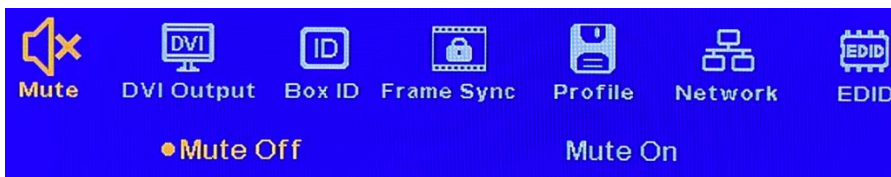
リモコンのカーソルを押しながら水平垂直に各 0~100 の範囲で移動可能です。(初期位置の値は各 50)



1 0-5 [Setting] 設定保存・呼出、RS-232C、EDID 設定

1 0-5-1 [Audio]

音声出力の設定を行います。



[Mute Off] 入力ソースの音声を出力します。

[Mute On] 音声出力が OFF になります。

1 0-5-2 [DVI Output]

出力信号を HDMI または DVI に設定することができます。

[OFF] 本機の HDMI 出力端子から HDMI 信号を出力します。

[ON] 本設定時は、音声出力されません。DVI モニターに接続する場合に ON にして下さい。また、HDMI モニターへの接続時でも、モニターの仕様により信号が正常に受け取れず正しく表示ができない場合に、DVI モード ON を試すことで解決する場合があります。

1 0-5-3 [Box ID]

本機を複数台使用する際は、ID (0~99、初期設定値 0) を割り当てて端末を識別することができます。

リモコンで操作する場合は、本機に ID1~9 を割り当て、リモコンのボタンを[8][5][ID 番号]と押すことで排他操作が可能になります。但し ID0 の端末は常にリモコンでの操作が可能です。例えば、リモコンのボタンを[8][5][1]と押すと ID1、及び ID0 の端末のみ操作することが可能になります。

リモコンの排他操作は、本機の電源をオフ、または[8][5][0]を押すことで解除されます。

1 0 - 5 - 4 [Frame Sync]

本機にはフレームロック機能が内蔵しています。



[Normal] フレームロック機能が有効です。入出力遅延 2 フレームに固定し、入力信号と出力信号の間の信号同期を行います。

[Fast] フレームロック機能が有効です。入出力遅延 2~3 フレームの範囲で入力信号と出力信号の間の信号同期を行います。入力ソース切り替え時に出力 Vsync の変更を最小限に抑えることで、ビデオウォール設定時や入力ソースを切り替え時の反応が[Normal]に比べて、若干速くなります。

[Disable] フレームロック機能が無効です。フレームロック機能の有効時に比べて、各種設定（ビデオウォール、リセット、入力ソースを切り替えなど）の反応が速くなりますので、設定の時短を図ることが可能です。

本設定が[Normal]または[Fast]であること、リフレッシュレートの入出力が下表の相関であることが、フレームシンク成立の必須条件となります。必須条件を満たしている場合は、Information の Output Mode(詳細 **10-1**)に「Sync」と表示されます。

リフレッシュレート	
入力	出力
30Hz	60Hz
60Hz	60Hz
59.94Hz	60Hz
50Hz	50Hz
30Hz	30Hz
60Hz	30Hz
59.94Hz	30Hz (ドロップフレーム)
24Hz	24Hz

1 0 - 5 - 5 [Profile]

プロファイル（設定情報）の保存と呼び出しができます。入力信号、画面構成、出力解像度、幾何学補正、ブレンディングなど設定したプロファイルを最大 10 個まで保存できます。

表示パターンの保存と呼び出しができます。

[Save] 実行すると入力信号、画面構成、出力解像度、幾何学補正、ブレンディングなど設定したデータを最大 10 パターン保存できます。

[Load] 実行すると Save で保存したデータを呼び出すことができます。リモコンの数字ボタンとプロファイルの Index 番号（Index 10 の場合のみリモコンの[0]）がリンクします。例えば Index1 のプロファイルを呼び出す場合は、リモコンの[PROFILE] > [1]を順番に押下します。Index10 のプロファイルを呼び出す場合は、リモコンの[PROFILE] > [0]を順番に押下します。

1 0 - 5 - 6 [EDID]

ソース機器から任意の解像度を正しく出力できるようにするための設定です。Windows7 以降の OS を搭載した PC は、EDID 設定が必須です。Windows、Mac OS を搭載したソース機器及び、要・不要の判断が付かない機器からの出力の際は、EDID の設定を必ず行ってください。

[プリセット EDID]

予め登録されている EDID を選択できます。

● 3840x2160p30	1920x1080p60	1024x768p60	1280x720p60
1280x800p60	1920x1200p60	1920x2160p60	2560x1440p60
2560x1600p60	3840x1080p60	3840x2400p30	1024x768p120
1280x720p120	1280x800p120	Customize	

[カスタマイズ EDID]

[Customize]を選択すると、水平 1024～3840 の範囲で 8 ピクセル刻み、垂直 720～2400 の範囲で 1 ピクセル刻みの設定ができます。リフレッシュレートは、全て 60Hz です。ソース機器の仕様に制限がある場合、設定した EDID が反映されないことがあります。その場合、ソース機器側の解像度設定で任意の解像度を選択してください。

1 1 仕様

1 1 - 1 製品仕様

型番		G112
入力端子	HDMI1.4	1
	電源ジャック	1
出力端子	HDMI1.4 ※1	1
制御端子		RS-232C×1、3.5mm IR×1
HDCP		1.4
動作環境温度/保管環境温度		0~40℃/-20~60℃
動作環境湿度/保管環境湿度		10~90% (結露なきこと)
最大解像度	入力 ※2	7680x1200@30Hz、3840x2160@30Hz
	出力	1920x1200/60Hz 2048x1080/60Hz (15 種類の表示解像度から選択可)
色深度 (各色)		8bit、10bit
入出力 遅延		2 フレーム (60Hz の場合 33ms)
電源アダプター最大消費電力		入力 : AC100V~240V / 出力 : DC12V、1A / 12W
本体最大消費電力		DC12V、0.4A 4.8W
認証		CE、FCC、RoHS
外形寸法(mm)幅 x 高さ x 奥行		169 x 31 x 116
重量		0.52Kg
製品保証期間		2 年

(2022 年 12 月現在)

※1 HDMI 入力信号にエンベデッドされた音声は、HDMI 出力端子からエンベデッドされ出力します。

HDMI 信号を延長する場合は、以下弊社 Web 掲載の動作確認済 HDMI ケーブルにてご検討ください。

https://jmgs.jp/products/vns_g112.html

※2 7680x1200/30Hz 出力可能な機器が必要です。

1 1 - 2 製品外観（機器寸法図）

